



2019年度自己点検評価報告書

札幌YMCA英語・コミュニケーション専門学校

2020年7月

2019年度自己点検評価報告書

公益財団法人北海道Y M C A
札幌Y M C A英語・コミュニケーション専門学校

開催日 : 2020年7月

出席委員 : 学校関係者 学校長、副校長、教務、教員

1. 学校の教育目標

札幌YMCA英語・コミュニケーション専門学校は、イエス・キリストの愛と奉仕の生き方に学んだYMCAの使命に基づき、以下の教育目標を制定します。

- 1 人と喜びや感動を共有できるホスピタリティーマインドを持つ
ホスピタリティーとは、相手を自分のことのように大切にできるという気持ちです。お客様だけでなく、友人、家族、地域で発揮できるようにします。
- 2 専門分野の知識、技能の取得
目標を明確にし、英語を使ったコミュニケーションの場面を創出し経験を積んでいきます。
- 3 YMCAブランド(みつかる。つながる。よくなる。)を意識しどんな場面でも実践する。YMCAが目指す豊かな社会(ポジティブネットのある)を想像していきます。
- 4 コミュニティに貢献するボランティア精神の習得
地域の一員として社会に関心を持ち、他の人のために働く心を育てます。YMCAのボランティア活動に参加する機会を設けます。

2. 本年度に定めた重点的に取り組むことが必要な目標や計画

2019年度は、昨年に引き続き学生支援環境の整備、安定した運営のための広報の強化など学生募集強化を目標に取り組んだ。

- 1 学生支援の強化
 - 1) 一人ひとりがYMCAの学生としての意識を持つことができる指導内容とする。
 - 2) 高い目標を持ち、学生も担任も共に高めあえる雰囲気づくりと行動をする。
 - 3) 教育の質を保証する働きを進める。
- 2 学生募集の強化
 - 1) ホームページの内容を充実させる。主に画像を多く盛り込んだ内容とする。スマートフォンで閲覧する学生がほとんどであるため、これに対応する。
 - 2) インターネットメディア、ソーシャルネットを活用した発信を強化する。
 - 3) 広報誌を充実させ、専門学校のことだけではなく、YMCAが何を行っているのか、どのように地域と関わっているのかを知ることができ、それに学生たちが生き生きと関わっていることを伝える広報とする。
 - 4) 学校訪問では、在校生・卒業生情報はもちろんのことYMCAとしての働きを伝えることを心がける。
 - 5) 業界に対しても同様に広報し、業界との連携を強める。

3. 自己点検評価

1. 実施方法

- 1) 評価は校長、教務課、教員にて行った。
- 2) 項目は、「専修学校における学校評価ガイドライン(平成25年3月)」に基づき行った。

2. 自己評価の評価

評価は、適切・・・4、ほぼ適切・・・3、やや適切・・・2、不適切・・・1とした。

4. 評価項目の達成及び取り組み状況

(1) 教育理念・目標

札幌YMCA英語・コミュニケーション専門学校は、北海道YMCAの使命に基づき、以下のよう
に運営方針と教育目標を定めています。

● 北海道YMCAの使命

北海道YMCAに連なる私たちは、『札幌バンド』を生み出した土壌の上に立ち、イエス・キリストによって示された愛と奉仕の生き方になり、地域社会に根ざしつつ、世界に向かって働きの輪を広げていきます。

私たちは、自然の豊かさをかけがえのないものと自覚し人間と多様な生命が共生していく環境を目指します。

私たちは、生涯を通して学び、また、様々な活動の中で、ボランティアの意義を人々の間に広め、実践の場を作り出します。

私たちは、アジア社会の一員として世界の平和を願い、共に喜びや苦しみを分かち合える地球社会の実現に力を注ぎます。

● 学校運営方針

札幌YMCA英語・コミュニケーション専門学校は、YMCAの理念に基づき、以下の方針を持って運営を行う。

1. 英語技能を身に付け、国際経験を活かし、異なる文化・宗教の人たちとも共に歩むことができる人材の育成
2. 専修学校（職業教育機関）として働くために必要な知識や能力を養成する。
3. 心（Spirit）、知性（Mind）、体（Body）の側面が調和された人材の育成

● 教育目標

1. 人と喜びや感動を共有できるホスピタリティマインドを持つ
2. 専門分野の知識、技能の習得
3. YMCAのブランドバリューを意識し、どんな場面でも実践する
4. コミュニティに貢献するボランティア精神の習得

(1) 学校運営方針 教育目標

評価項目	評価(4~1)			
理念・目的・育成人材像は定められているか（専門分野における職業教育の特色は何か）	④	3	2	1
学校における職業教育の特色は何か	④	3	2	1
社会経済のニーズ等を踏まえた学校の将来構想を抱いているか	④	3	2	1
理念、目的、育成人材像、特色、将来構想などが生徒保護者等に周知されているか	④	3	2	1
各学科の教育目標、育成人材像は、学科等に対応する業界のニーズに向けて方向づけられているか	④	3	2	1

① 現状

- ・理念・目的・育成人材像等は、学生要綱を利用して学生に対するオリエンテーション時に説明している。教職員に対しては、講師マニュアルを講師会にて説明し学習している。
- ・YMCAのブランドコンセプトのポスターを教室に掲示し、日常の中で触れられるようにしている。
- ・入学時における保護者会にて事務的な連絡以外にも必ず伝え、また学生にはホームルームを利用して日常的に取り組んでいる。

② 課題

- ・教員、担任が意識的に理念・目的等を語る者である事を意識する事。

③ 今後の改善方策

- ・業界で活躍する卒業生を定期的に訪問し連携を強化する。
- ・学生たちにボランティアなど、YMCAの活動や働きを理解する機会を増やし、YMCAの学生としてより意識してもらえるようにしていく。

④ 特記事項

- ・特になし

(2) 学校運営

評価項目	評価(4~1)			
目的等に沿った運営方針が策定されているか	④	3	2	1
事業計画に沿った運営方針が策定されているか	④	3	2	1
運営組織や意志決定機能は、規則等において明確化されているか、有効に機能しているか	④	3	2	1
人事、給与に関する制度は整備されているか	④	3	2	1
教務、財務等の組織整備など意識決定システムは整備されているか	④	3	2	1
業界や地域社会等に対するコンプライアンス体制が整備されているか	④	3	2	1
教育活動に関する情報公開が適切になされているか	④	3	2	1
情報システム化等による業務の効率化が図られているか	④	3	2	1

① 現状

- ・学校運営方針は、年度当初の講師会において発表され、共有している。
- ・YMCAの事業方針に基づいた、事業計画を別途作成し、アクションプランを実行している。
- ・事業の内容は、教育センター委員会、理事会に報告している。
- ・Googleシステムを利用してITを活用しながら、情報の共有等が進められている。

- ・事業報告書、財務諸表が適切に公開されている。
- ② 課題
 - ・職員一人ひとりが日常的に事業方針計画の実行を意識すること。
- ③ 今後の改善方策
 - 特になし
- ④ 特記事項
 - ・特になし

(3)教育活動

評価項目	評価(4~1)			
教育理念等に沿った教育課程の編成実施方針等が策定されているか	④	3	2	1
教育理念、育人人材像や業界のニーズを踏まえた教育機関としての修業年限に対応した教育到達レベルや学習時間の確保は明確にされているか。	④	3	2	1
学科等のカリキュラムは体系的に編成されているか	④	3	2	1
キャリア教育実践的な職業教育の視点に立ったカリキュラムや教育方法の工夫開発などが実施されているか。	④	3	2	1
関連分野の企業関係施設等、業界団体等の連携により、カリキュラムの作成見直し等が行われているか	④	3	2	1
関連分野における実践的な職業教育(産学連携によるインターンシップ、実技実習等)が体系的に位置づけられているか	④	3	2	1
授業評価の実施評価体制はあるか	④	3	2	1
職業に関する外部関係者からの評価を取り入れているか	④	3	2	1
成績評価単位認定の基準は明確になっているか	④	3	2	1
資格取得の指導体制、カリキュラムの中での体系的な位置づけはあるか	④	3	2	1
人材育成目標に向け授業を行うことができる要件を備えた教員を確保しているか	④	3	2	1
関連分野における業界との連携において優れた教員(本務兼務含め)の提供先を確保するなどマネジメントが行われているか	④	3	2	1
関連分野における先端的な知識技能等を修得するための研修や教員の指導力育成など資質向上のための取組が行われているか	④	3	2	1
職員の能力開発のための研修等が行われているか	④	3	2	1

① 現状

- ・教育目標を設定し、カリキュラム編成が考えられている。
- ・アドミッションポリシーを明確にしている。
- ・シラバスを作成し、授業内容を、評価方法を明確にしている。
- ・学生は、学期ごとに授業評価をし、その結果は、講師にフィードバックされている。
- ・目標とする資格も明確であり、資格取得のために編成されたカリキュラムで行っている。

② 課題

- ・教職員研修の充実

③ 今後の改善方策

- ・業界関連業務理解のための研修を行う。

④ 特記事項

- ・特になし

(4)学修成果

評価項目	評価(4~1)			
就職率の向上が図られているか	④	3	2	1
資格取得率の向上が図られているか	④	3	2	1
退学率の低減が図られているか	④	3	2	1
卒業生在校生の社会的な活躍及び評価を把握しているか	④	3	2	1
卒業後のキャリア形成への効果を把握し学校の教育活動の改善に活用されているか。	④	3	2	1

① 現状

- ・就職対策の授業や個別指導で日頃から就職に向けての準備を行っている。

② 課題

- ・就職に関しては、在校生との情報交換をしっかりと取っていく。

③ 今後の改善方策

- ・ICTを活用した卒業生情報の管理を行う事を検討する。

④ 特記事項

- ・特になし

(5)学生支援

評価項目	評価(4~1)			
進路就職に関する支援体制は整備されているか	④	3	2	1
学生相談に関する体制は整備されているか	④	3	2	1
学生の経済的側面に対する支援体制は整備されているか	4	③	2	1
学生の健康管理を担う組織体制はあるか	④	3	2	1
課外活動に対する支援体制は整備されているか	④	3	2	1
学生の生活環境への支援は行われているか	④	3	2	1
保護者と適切に連携しているか	④	3	2	1
卒業生への支援体制はあるか	④	3	2	1
社会人のニーズを踏まえた教育環境が整備されているか	④	3	2	1
高校,高等専修学校等との連携によるキャリア教育・職業教育の取組が行われているか	④	3	2	1

① 現状

- ・学費の分納制度また奨学金制度(Jasso)を活用するものも多く支援がなされている。
- ・健康診断や保険等について整備されている。
- ・卒業後も就職支援等継続的に行っている。
- ・定期的に保護者会やクラスターで学生の情報を伝えている。

② 課題

- ・入学生、在校生向けの学校独自の費用補助制度がない。

③ 今後の改善方策

- ・本校として学生への支援体制を整えていくことを検討する。

④ 特記事項

特になし

(6)教育環境

評価項目	評価(4~1)			
施設設備は教育上の必要性に十分対応できるよう整備されているか	④	3	2	1
学内外の実習施設,インターンシップ,海外研修等について十分な教育体制を整備しているか	④	3	2	1
防災に対する体制は整備されているか	④	3	2	1

① 現状

- ・必要な環境整備・防災体制は様々な変化に対応しながら進められている。

② 課題

- ・ICT環境の充実
- ・備品の更新

③ 今後の改善方策

- ・法人全体の整備計画に従って環境整備を行う。
- ・Wifi環境の整備と充実を行う

④ 特記事項

特になし

(7)学生の受入れ募集

評価項目	評価(4~1)			
学生募集活動は,適正に行われているか	④	3	2	1
学生募集活動において,教育成果は正確に伝えられているか	④	3	2	1
学納金は妥当なものとなっているか	④	3	2	1

① 現状

- ・学校説明会やオープンキャンパスなどで教育効果を伝えている。

② 課題

- ・学習成果が高校生にもわかりやすく、英語の魅力が伝えられるように工夫をさらにしていく。
 - ・SNSのさらなる活用
- ③ 今後の改善方策
- ・募集計画を確実に進行。
 - ・説明会等に係わる在校生が、自信をもって生き生きと楽しく行動できるよう、日常的な関りを強化する。
- ④ 特記事項

(8)財務

評価項目	評価(4~1)			
中長期的に学校の財務基盤は安定しているといえるか	4	③	2	1
予算収支計画は有効かつ妥当なものとなっているか	④	3	2	1
財務について会計監査が適正に行われているか	④	3	2	1
財務情報公開の体制整備はできているか	④	3	2	1

① 現状

- ・入学者の減少。

② 課題

- ・途中退学者を出さない。

③ 今後の改善方策

特になし

④ 特記事項

特になし

(9)法令等の遵守

評価項目	評価(4~1)			
法令,専修学校設置基準等の遵守と適正な運営がなされているか	④	3	2	1
個人情報に関し,その保護のための対策がとられているか	④	3	2	1
自己評価の実施と問題点の改善に努めているか	④	3	2	1
自己評価結果を公開しているか	④	3	2	1

① 現状

- ・法令順守されている。

② 課題

特になし

③ 今後の改善方策

特になし

④ 特記事項

特になし

(10)社会貢献地域貢献

評価項目	評価(4~1)			
学校の教育資源や施設を活用した社会貢献地域貢献を行っているか	④	3	2	1
生徒のボランティア活動を奨励,支援しているか	④	3	2	1
地域に対する公開講座教育訓練(公共職業訓練等)の受託等を積極的に実施しているか	4	③	2	1

① 現状

- ・ボランティアに積極的に参加している。

② 課題

- ・地域に対して公開講座等の実施を検討していく。

③ 今後の改善方策

特になし

④ 特記事項

特になし

(11)国際交流

評価項目	評価(4~1)			
留学生の受入れ派遣について戦略を持って国際交流を行っているか	④	3	2	1
受入れ派遣,在席管理等において適切な手続き等がとられているか	④	3	2	1

学習成果が国内外で評価される取組を行っているか	④	3	2	1
学内で適切な体制が整備されているか	④	3	2	1

① 現状

- ・在籍管理・諸届を正確に行っている。
- ・国際に関する授業が行われている。

② 課題

特になし

③ 今後の改善方策

特になし

④ 特記事項

事業計画の中に、日本語学校の検討を行う事になっている。(要検討)